



# 2019年3月期 決算説明会

2019年5月15日

堀田丸正株式会社

代表取締役社長 大西 雅美

(東京証券取引所第2部 証券コード8105)

## ①今後の成長戦略推進のための構造改革完了

- ・洋装事業の過剰在庫を一括評価減実施
- ・不採算事業(タケオニシダ)の事業譲渡
- ・事業所の統廃合で効率化、コスト削減実現
- ・前期販管費323百万削減、在庫532百万削減

## ②株主還元策の継続実施

- ・昨年拡充した株主優待制度を同条件で継続

## ③財務状況は、健全な状態を維持

- ・固定資産売却の推進で手持ち資金増加
- ・営業キャッシュフロー創出で、無借金経営継続

# 構造改革実績

## ①事業所の統廃合

- ・和装西日本事業所を移設縮小
- ・吉利(和装)事業所を縮小。浅草橋・札幌事業所閉鎖
- ・寝装事業所を移設縮小
- ・本社一部を(株)馬里邑へ転貸

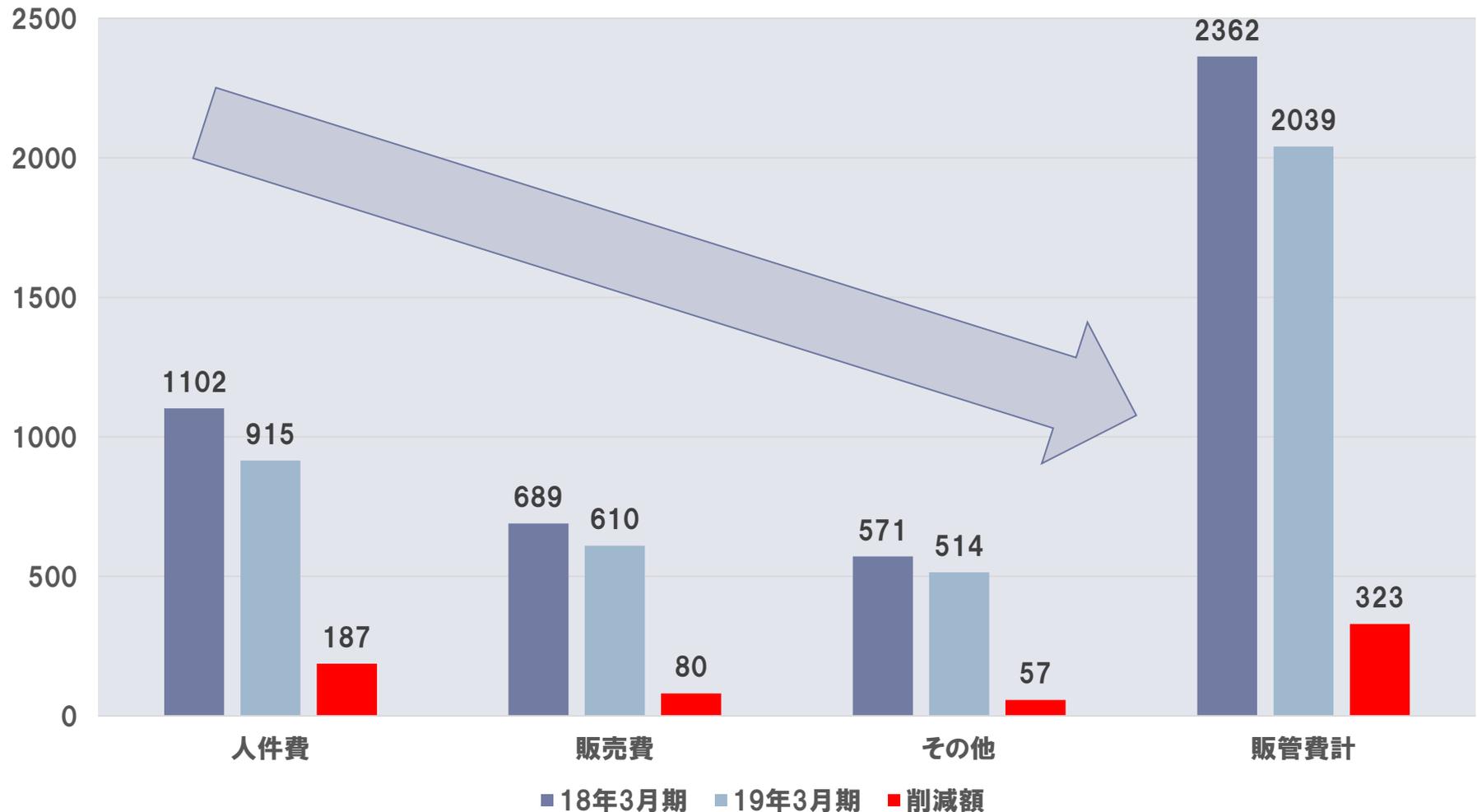
## ②販売費及び個別事業を抜本的な見直し

- ・馬里邑事業の代行販売委託を直接委託に変更
- ・和装事業の販売人員体制を業績連動で適正化
- ・タケオニシダ事業をMBOにより事業譲渡

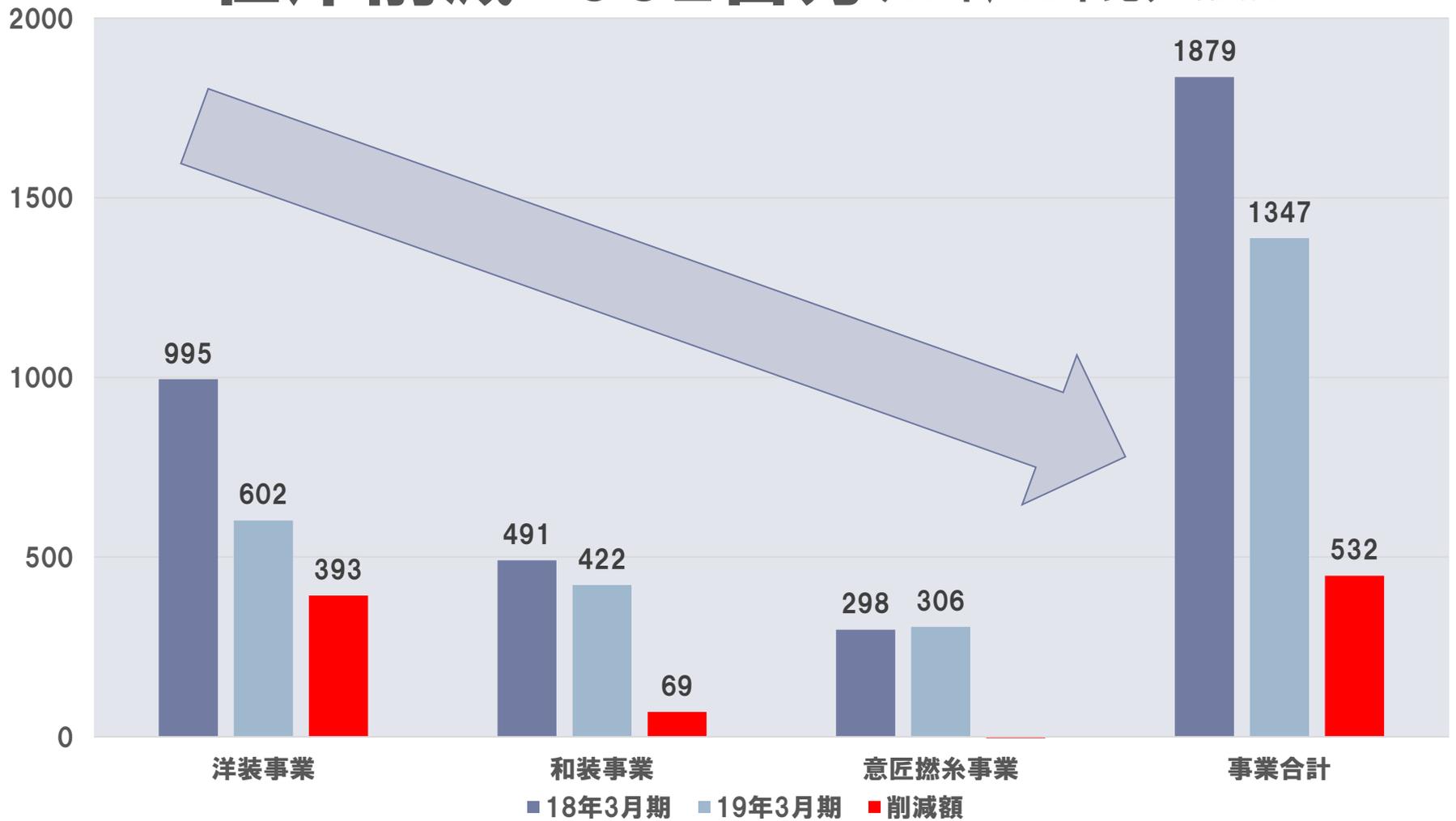
## ③過剰在庫を積極販売、追加評価減実施で削減

- ・馬里邑事業在庫を将来リスク軽減のため、評価減
- ・主催催事を通して、各事業の在庫を積極販売

# 販管費削減 323百万 (19/18年比) 単位:百万



# 在庫削減 532百万 (19年/18年比) 単位:百万



# 決算概要

## 連結損益計算書(通期)

- 売上高:意匠燃糸事業、寝装事業は増収も和装事業、洋装事業の減収が影響
- 売上総利益:洋装事業で構造改革の一環で実施した388百万の評価減が影響
- 販管費:事業所の統廃合、販売費の抜本的な見直しで前期比323百万の削減
- 営業利益:過剰在庫の評価減インパクトで赤字計上

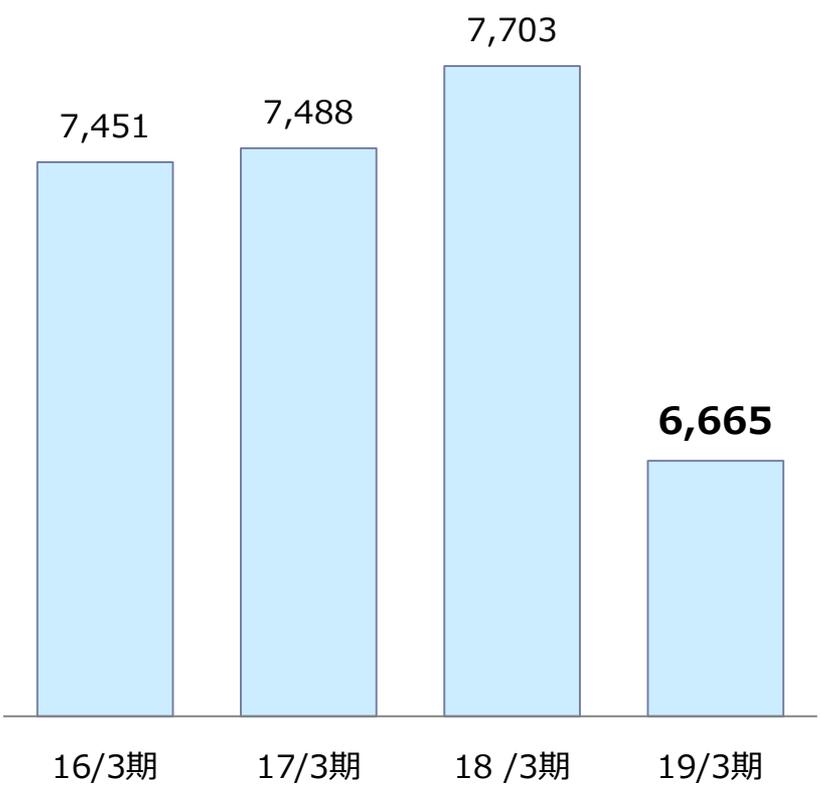
(単位:百万円)

	2018年3月期 通期	2019年3月期 通期	増減額	増減率
売上高	7,703	6,665	▲1,038	86.5%
売上総利益	2,431	1,602	▲829	65.9%
販管費	2,362	2,039	▲323	86.3%
営業利益	68	▲437	▲505	—
経常利益	56	▲419	▲475	—
当期純利益	100	▲465	▲565	—

構造改革の最終形として、過剰在庫の評価減実施により赤字計上も、今期以降の安定的な利益創造の基盤づくりが完成

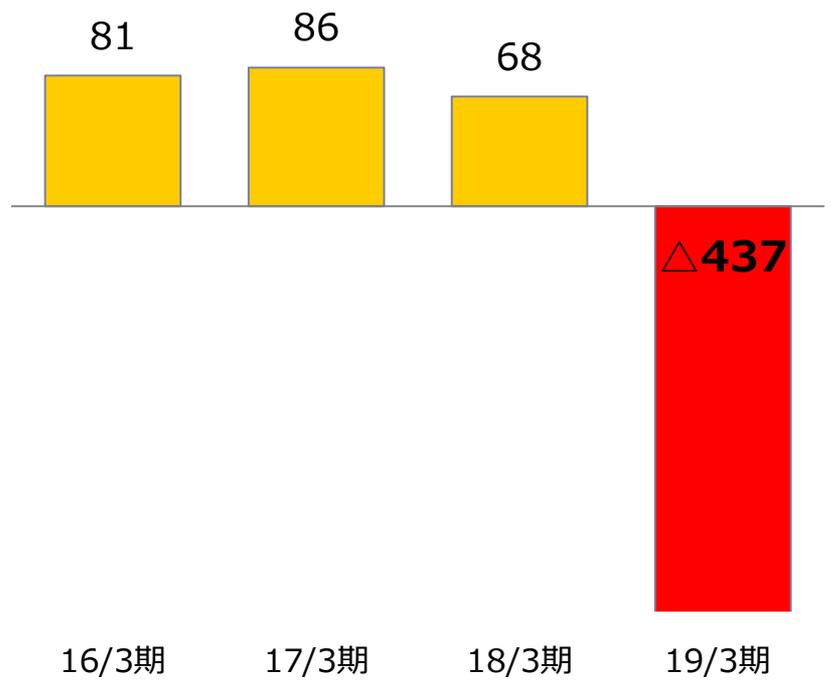
### 売上

(単位：百万円)



### 営業利益

(単位：百万円)



## セグメント別実績(通期)

- 和装事業は先行実施した構造改革効果により、黒字転換実現
- 洋装事業はアパレル、丸福事業は黒字も馬里邑事業の評価減で赤字
- 意匠燃糸事業は黒字継続。寝装事業はギフト事業効果で増益達成

(百万円：%)

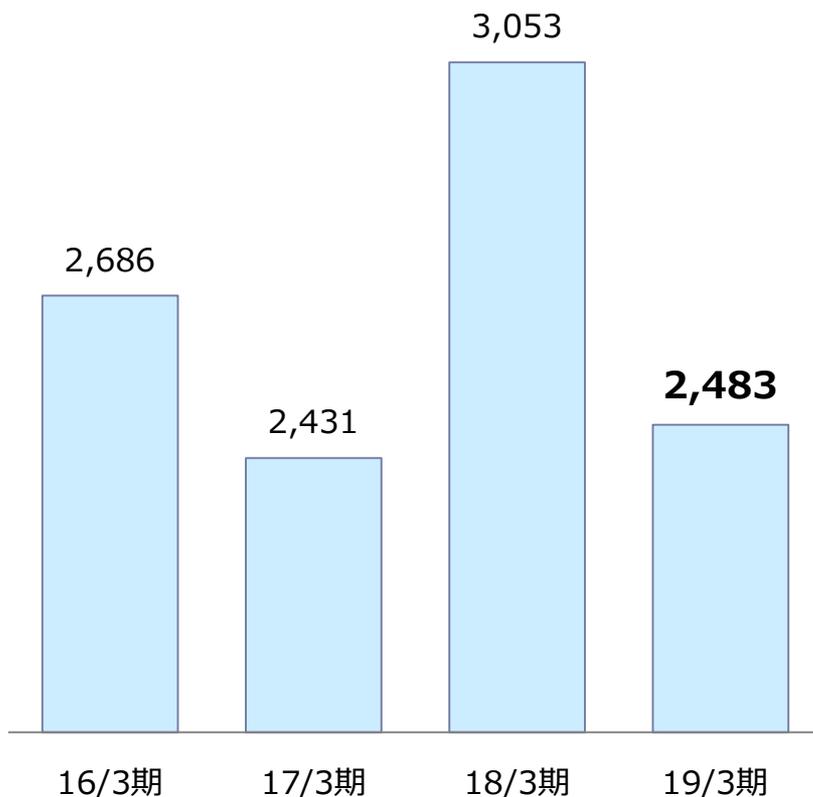
	売上高				セグメント利益			
	2018/3	2019/3	増減額	前年同期比	2018/3	2019/3	増減額	前年同期比
<b>連結</b>	7,703	6,665	▲1,038	86.5	68	▲437	▲505	—
<b>洋装事業</b>	3,053	2,483	▲570	81.3	116	▲411	▲527	—
<b>意匠燃糸事業</b>	2,177	2,124	▲53	97.5	173	149	▲24	86.1
<b>和装事業</b>	1,901	1,483	▲418	78.0	▲39	15	+54	—
<b>寝装事業</b>	571	573	+2	100.3	23	35	+12	152.1
<b>本社・調整</b>	—	—	—		▲207	▲227	▲20	—

※連結売上高、経常利益、当期利益は連結相殺を含んでおります。

アパレル、丸福両事業は黒字。馬里邑事業の構造改革のための過剰在庫の評価減実施で赤字も将来リスクの排除が実現

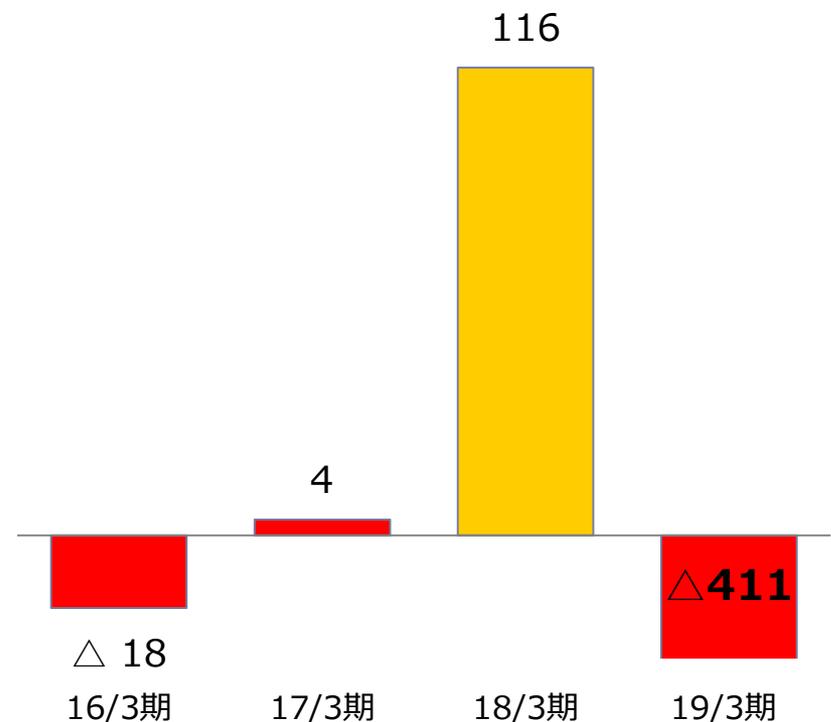
## 売上高

(単位：百万円)



## 営業利益

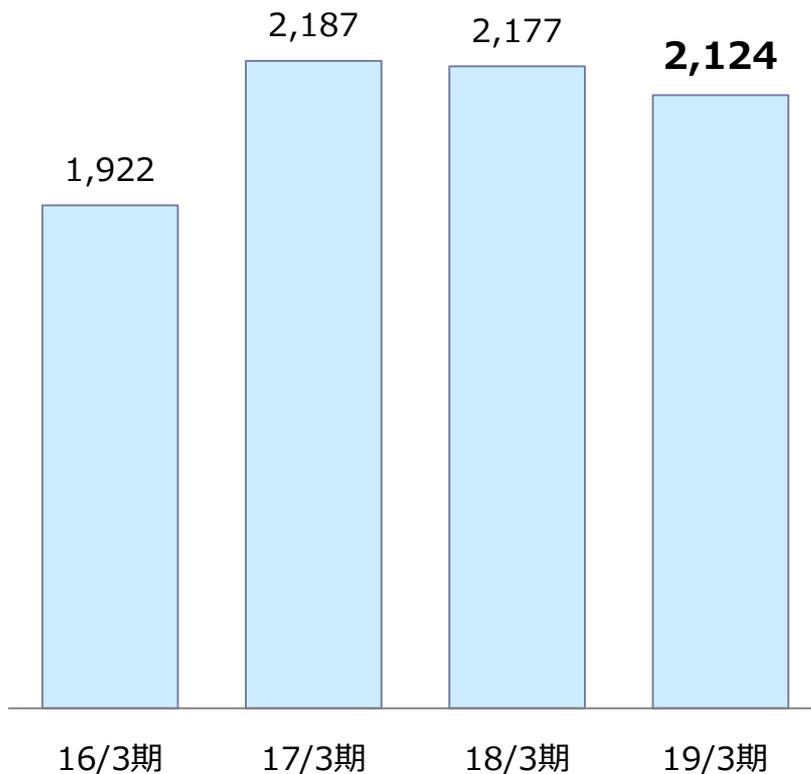
(単位：百万円)



意匠撚糸事業は国内、海外共に増益達成も、OEM事業のイエリデザインが受注減により大幅減収が影響

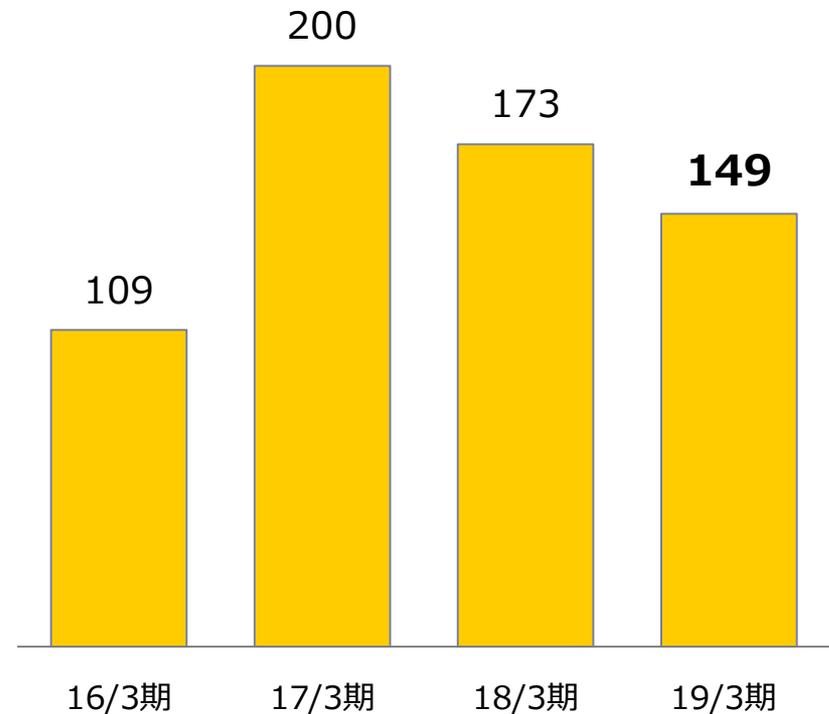
## 売上高

(単位：百万円)



## 営業利益

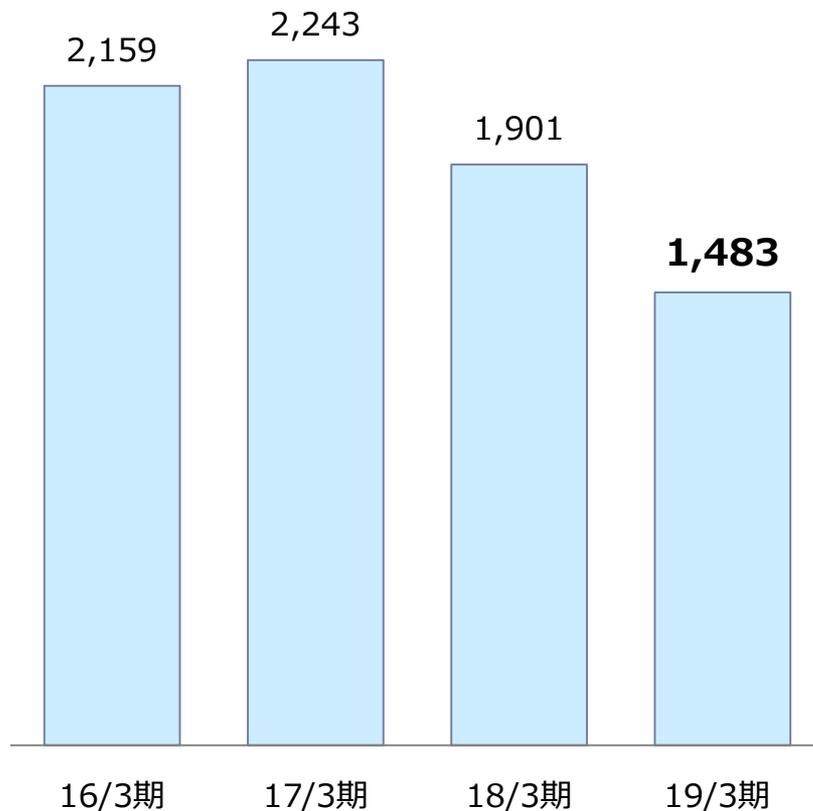
(単位：百万円)



トップラインの減少傾向には歯止めがかからないが、先行して実施した構造改革効果で黒字転換。54百万以上の改善実現。

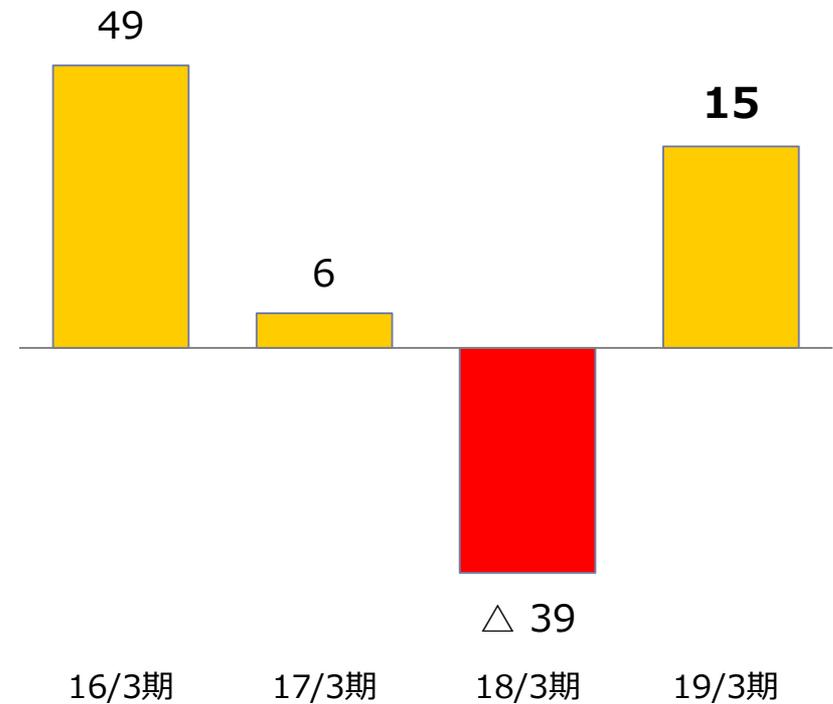
## 売上高

(単位：百万円)



## 営業利益

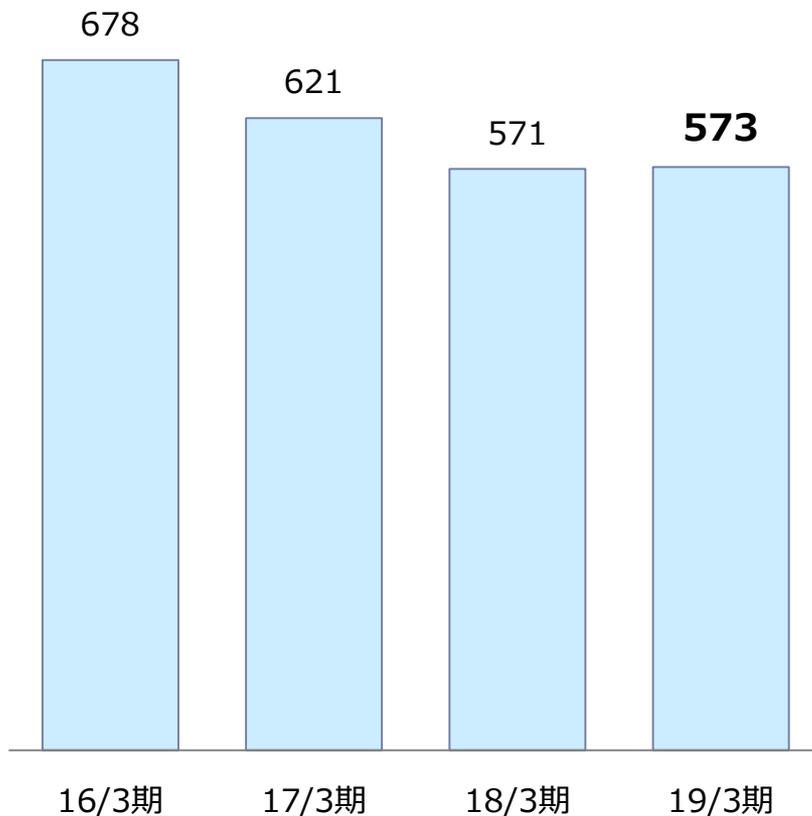
(単位：百万円)



寝装事業本体は苦戦も、事業所の統廃合等のコスト削減と東北でのギフト事業が順調に推移したことで増収増益を達成

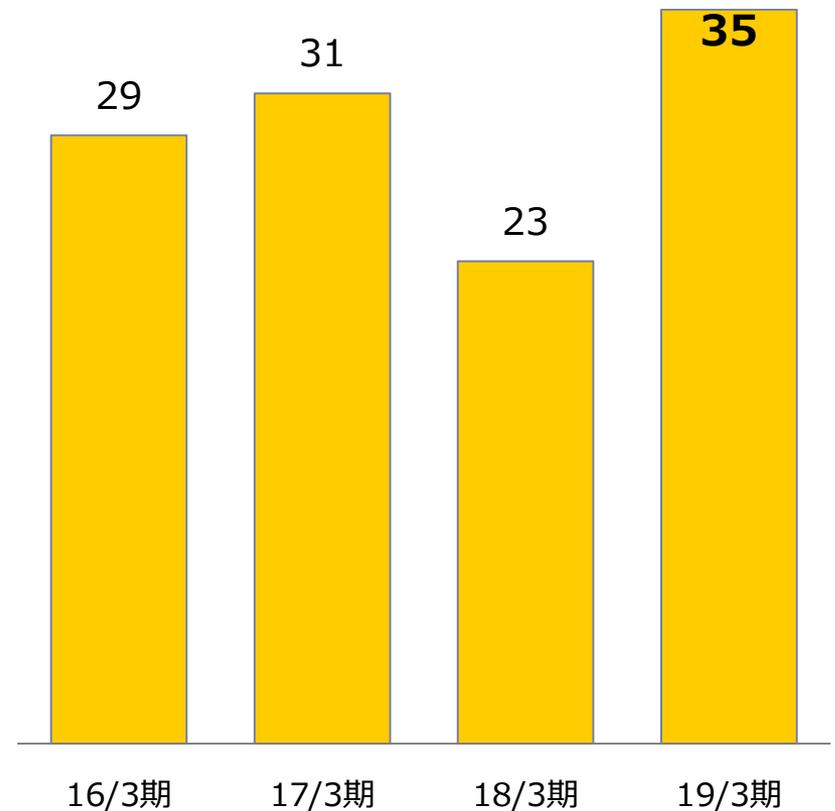
## 売上高

(単位：百万円)



## 営業利益

(単位：百万円)



## ■ RIZAPグループと連携した魅力的な優待を継続実施

### 優待内容

当社商品を含むRIZAPグループ各社の商品からご希望の優待商品をお選び頂き、贈呈いたします。

- RIZAPグループ商品 2,000円相当  
500株以上、1500株未満
- RIZAPグループ商品 6,000円相当  
1500株以上、2500株未満
- RIZAPグループ商品 10,000円相当  
2500株以上

権利確定月：3月末日(2019年3月期)



※カタログは製作中の為、イメージです

# 連結貸借対照表

単位:百万

堀田丸正 株式会社

資産の部	2018/3 期末	2019/3 期末	増減額
流動資産	5,829	5,442	▲387
固定資産	531	279	▲252
資産合計	6,360	5,722	▲638

負債・ 純資産の部	2018/3 期末	2019/3 期末	増減額
流動負債	1,571	1,430	▲141
固定負債	38	50	+12
純資産	4,751	4,241	▲510
負債・純 資産合計	6,360	5,722	▲638

# 今後の経営方針

# 今後の経営方針

## ①コア事業である意匠燃糸事業の一層の拡大

- ・中国内販向けへのアプローチ再強化
- ・欧州向けの提案強化。売上拡大
- ・経営資源の集中投下

## ②第2の柱である洋装事業の飛躍的な収益改善

- ・構造改革が終了した馬里邑事業のプロフィットC化
- ・順調なアパレル事業の一層の拡大強化
- ・ベビー・子供の再建による丸福事業の再成長

## ③持続的成長のための経営基盤の確立推進

- ・事業領域拡大による将来リスクの軽減
- ・事業ポートフォリオの見直しに着手

## 重要方針/戦略

## 概要説明

## 方向性

1  
意匠撚糸事業の拡大

中国現地法人による海外企業向けの意匠撚糸共有の飛躍的な拡大を図る

堀田上海の収益構造を見直し  
中国内販事業強化  
欧州向けの飛躍的な拡大

2  
洋装事業の飛躍的な収益性改善

前期までに構造改革が終了した馬里邑事業の飛躍的な改善  
アパレル、丸福事業の安定成長

評価減在庫の活用で馬里邑事業の粗利改善及び事業効率化推進

3  
和装事業の黒字維持

リサイクル等の新規チャネルの活用で売上下降傾向に歯止めをかけて、黒字維持向上

催事販売の効率化で百貨店売上及び収益の改善  
吉利事業の収益性改善

4  
寝装事業の継続成長

順調なギフト事業に資源集中で一層の売上、利益拡大  
寝装事業の安定化

ギフトバリエーションの拡大で更なる受注の拡大

5  
持続的な経営基盤の確立推進

将来の収益創造のために事業領域を拡大

事業領域の拡大の伴い、事業ポートフォリオ再編

# 今期の業績見通し(年間)

堀田丸正 株式会社

(単位:百万円)

	2019年3月期 年間	2020年3月期 年間	増減額	増減率
売上高	6,665	6,445	▲220	96.7%
売上総利益	1,602	2,044	+442	127.6%
販管費	2,039	2,004	▲35	98.3%
営業利益	▲437	40	+477	-
経常利益	▲419	33	+452	-
当期純利益	▲465	4	+469	-

# 免責事項

**本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。**

**本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。**